

岡田総 結城 國文學者。明治二十七年七月、二十五日岐阜縣可兒郡伏見村生れ、昭和四十一年歿（二八九一—一九六七）。筆名尾形美宣、岡村草（一、岡田生、岡田紅施、歌川夢路、潮美白鳥、白雨樓、麗日莊主人等。大正十二年文部省中等教員檢定試験國語科漢文科合格、昭和二年同高等教員檢定試験國漢科合格、同年岐阜縣師範學校本科第一部卒。翌年愛知縣小牧中學校教諭となり名古屋國文學會を設け、文部省教員檢定試験受験者對象の國文學講習會（夏期・冬期）を開始。四年雜誌『國漢研究』を創刊。のち愛知縣第一師範學校教授、小牧南高等學校校長等歴任。

著書に、『文檢國語科問題解説』（大正十二年九月—二十二年）（正文館）、編『蜻蛉日記解説環放展』（五十嵐篤好著・松田好夫校、昭和十年二月十日愛知・名古屋國文學會）、校訂『鈴木服著作集（國語學之部）—言語四種論・活語斷續譜・雅語互聲考』（昭和十一年六月十五日愛知・名古屋國文學會）、『米國及公英 國ニ對スル 宣戰ノ詔書講解』（昭和十七年一月—百愛知・正文館書店）、補訂『文樂の人物とニニ味線』（桐竹敏十郎・鶴澤清）二冊著、昭和十九年十月五日愛知・文樂研究會）等。

